

1. 生産性の向上を通じて経済成長を牽引するプロジェクトへの重点投資

○ 大都市圏の国際競争力や地域の潜在成長力を飛躍的に向上させるプロジェクト(例: 三大都市圏の環状道路及びその周辺開発、物流・訪日観光客受入の拠点となる港湾等)を官民挙げて重点的かつ計画的に推進

圏央道

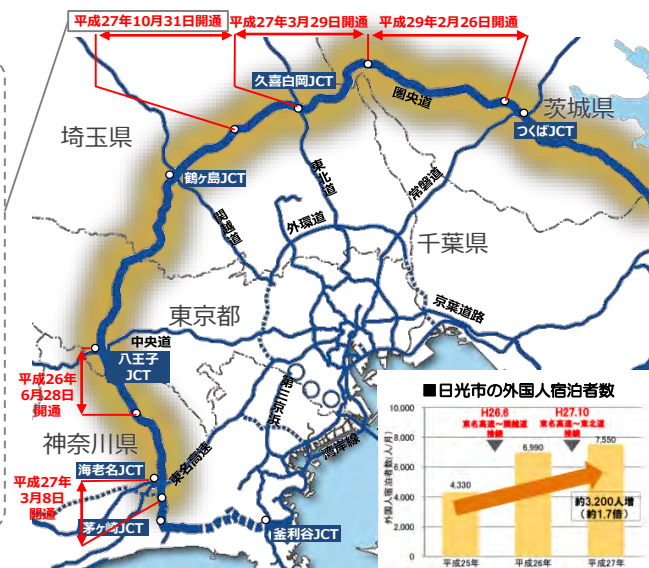
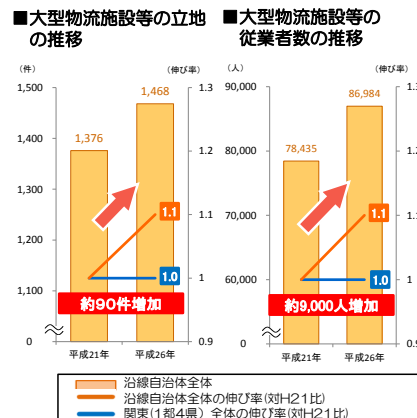
○ 平成29年2月に茨城県区間が全線開通し、約9割が完成

○ 茨城県では工場立地件数3年連続全国1位。沿線の大規模物流施設等が5年間で約90件増加

→ 従業者数が約9,000人増加

○ 成田空港から日光、富岡製糸場等の観光地へのアクセスが向上

→ さらに外国人観光客の増加が期待



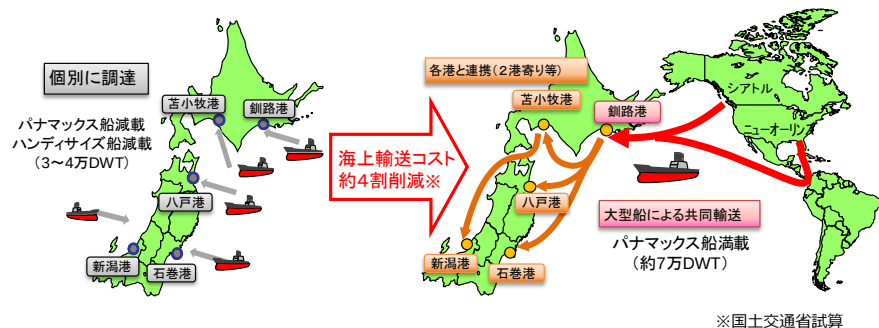
釧路港(国際バルク戦略港湾)

○ 分散輸入していたバルク貨物の輸入拠点となる港湾の整備、輸送経路の集約・再編

→ 海上輸送コストの約4割削減

→ 約23億円の民間投資(サイロ増設)

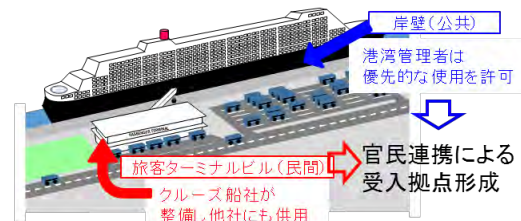
■国際バルク戦略港湾
穀物: 5港
鉄鉱石: 3港
石炭: 3港



官民連携による国際クルーズ拠点の形成

○ 博多港・長崎港等において、岸壁延伸等により大型クルーズ船の受入を推進
○ さらに、6港湾を選定し、集中的に官民で受入環境を整備

→ 訪日クルーズ旅客を2020年に500万人へ



■国際クルーズ拠点
・横浜港
・清水港
・佐世保港
・八代港
・本部港
・平良港

(港湾法の一部を改正する法律案(平成29年3月10日閣議決定))